

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

（１）教職課程委員会における検討

本学の教職課程委員会の歴史は古く、旧３学部体制、家政学部・文学部・短期大学部の時代である1976年４月に設置されていた。運営規則が制定されたのは、1979年１１月となっている。学部ごとに教職課程の運営責任者が置かれた責任体制の下に、大学の教職課程が運営されている。

2014年３月～2014年１０月の間、教職課程委員会の中に教職支援強化のためのワーキンググループを設置し、教職を目指す学生のために大学全体あるいは学部ごとに実施している学生支援の現状と課題について分析検討を行った。教員採用試験対策や教職の実践的指導のために開設されている教育学部附置の教職サポートルームは、2013年度から教育学部以外の教職を目指す学生についても支援を拡大している。教員採用試験の早期化・複線化への対応のため、４年次受験に向けた３年生への支援に加えて、2023年度から３年次での受験を目指す２年生も対象とした支援を行っている。

2022年度から、教職課程の質の保証、向上を目的として、全学的に教職課程を実施する組織である教職課程委員会において教職課程の自己点検・評価を実施している。

（２）教育委員会及び地域との連携

教育委員会と大学との協定は、愛知県日進市と名古屋市との間に協定が結ばれている。日進市については、日進キャンパスにある臨床心理相談室が、日進市の公立小中学校に通う児童生徒と保護者の相談、および教員への教育指導面接を行っている。また、大学教員（臨床心理士・公認心理師・精神科医）が、小中学校に特別支援のための巡回指導に出かけている。また、学校支援ボランティアとして、学部生・大学院生など数名が、市内の公立小中学校でボランティアを行っている。

名古屋市教育委員会とは、教育委員会が学生募集を行う「なごや教職インターンシップ」「トワイライトスクール事業」「名古屋土曜学習いきいきサポート」等に応募奨励・希望者の斡旋を行っている。

また、2014年度に開設した大学院教育学研究科のカリキュラムとして開設されている長期教育実習科目、教職インターンシップにおいては、教職の実践指導に関して名古屋市との包括協定のもとに、教育委員会の助言を得ながら、より高度な教師養成について質の向上への努力を行っている。

（３）教職インターンシップ・学校ボランティア等

教育学部においては、2007年度の学部創設以来、学部の科目として教育ボランティア・福祉ボランティア・学校体験活動といった科目を開設、学生への指導を行うとともに、単位認定とは別に、教職のインターンシップとして、学校や保育・児童福祉領域へのボランティア参加を奨励している。2013年度から教育学部以外の教職を目指す学生のうち、希望者には科目の担当者が指導助言を行っているが、大学全体としての公式な学生支援体制は確立していない。

大学院教育学研究科では、既設の教育学研究科でありながら、ストレートマスターに対し、教職インターンシップ科目や教職実践研究科目を開設し、教育現場に密着した教師教育の質向上に対する努力を行っている。

表 1 ボランティア科目群への登録状況

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
教育ボランティア／ 学校体験活動 *1	67	65	60	60	55	32	74	41	50	20
福祉ボランティア	17	18	12	10	15	1	3	8	7	2
ふれあい実習Ⅱ *2	205	146	185	173	172	122	145	166	284	314
授業登録なし	371	240	185	260	229	154	335	117	170	133
延べ人数	660	455	442	503	471	309	530	332	511	469

*1 2020 年度から教育学部以外の学部生の受講数を含む

*2 2012 年度までは附属小学校でのボランティア活動、2013 年度からボランティアの基礎を学ぶ講義

表 2 ボランティア先の内訳（延べ数）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
幼稚園 *3	229 (45・108)	175 (48・101)	161 (35・114)	195 (37・144)	208 (68・123)	59 (4・45)	38 (6・23)	126 (10・116)	125 (2/116)	114 (0/105)
保育園・こども園 *4	157(112)	95(73)	123(97)	158	278 (95・123)	104 (97)	146 (131)	227 (110)	197 (87)	99 (102)
子育て支援事業	16	26	6	61	42	14	25	8	7	12
小学校 *5	83(48)	113(61)	108(61)	114(61)	81(36)	83(36)	78(38)	60(44)	66(54)	46(34)
放課後支援事業 *6	58(41)	62(56)	53(41)	68(49)	70(59)	27(23)	37(33)	38(29)	30(25)	52(26)
中学校/高等学校	7	12	19	9	8	8	4	7	7	8
養護学校	6	1	3	3	1	0	0	0	1	0
子どもキャンプ	99	82	131	28	56	1	26	23	25	12
その他	10	19	13(*9)	170	22	5	20	65	25	10
なごや教職インターンシップ	52(*7)	37(*8)	30(*10)	34(*11)	40(*12)	26(*13)		35(*14)	32(*15)	43(*16)

*3 ()内は名古屋市・椋山女学園大学附属幼稚園

*4 ()内は椋山女学園大学附属保育園

*5 ()内は名古屋市立小学校でのボランティア

*6 ()内は名古屋市立小学校のトリート

*7 内訳は教育学部 47 名、生活科学部生活環境デザイン学科 2 名、現代マネジメント学部 2 名、教育学研究科 1 名。学年は 2 年生 13 名、3 年生 38 名、2 年生 1 名修士課程。

*8 内訳は教育学部 33 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 2 名、人間関係学部人間関係学科 1 名。

*9 内訳は教育学部 13 名、生活科学部管理栄養学科 1 名、人間関係学部人間関係学科 1 名、看護学部 1 名。

*10 内訳は教育学部 27 名、生活科学部生活環境デザイン学科 1 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 1 名。学年は 3 年生 30 名。

*11 内訳は教育学部 32 名、生活科学部管理栄養学科 1 名、現代マネジメント学部 1 名。学年は 3 年生 34 名。

*12 内訳は教育学部 34 名、生活科学部生活環境デザイン学科 2 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 1 名、人間関係学部心理学科 1 名、現代マネジメント学部 1 名。学年は 2 年生 5 名、3 年生 35 名。

*13 内訳は教育学部 20 名、生活科学部管理栄養学科 1 名、生活環境デザイン学科 2 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 1 名、人間関係学部人間関係学科 1 名。学年は 3 年生 26 名。

*14 内訳は教育学部 31 名、生活科学部管理栄養学科 2 名、生活環境デザイン学科 2 名。学年は 3 年生 35 名。

*15 内訳は教育学部 28 名、生活科学部生活環境デザイン学科 1 名、人間関係学部人間関係学科 1 名、現代マネジメント学部 2 名。学年は 3 年生 29 名、2 年生 2 名、1 年生 1 名。

*16 内訳は教育学部 29 名、生活科学部管理栄養学科 2 名、生活環境デザイン学科 8 名、国際コミュニケーション学部国際言語コミュニケーション学科 1 名、表現文化学科 2 名、人間関係学部心理学科 1 名。学年は 3 年生 21 名、2 年生 22 名。